

# 定年帰農者等講座を活用した農業者の確保・育成

県北農林事務所 経営・普及部門(常陸太田地域農業改良普及センター)

常陸太田市では、市やＪＡ茨城みずほ、県北農林事務所経営・普及部門が連携し、定年帰農者等講座を活用した担い手の確保・育成・定着に向けた取り組みを行っています。本講座では、定年を機に野菜栽培を始めようとする意欲の高い方を対象に、地域農業の新たな担い手として、直売所に出荷できるような技術習得に向けた指導を行っています。

また、直売所出荷者については、直売所の栽培講習会に誘導し、周年出荷に向けた技術習得と情報交換ができるよう継続した支援を行ってきました。

## 定年帰農者等の確保と育成

定年帰農者等講座は２年間で１７回の講義と実習が計画され、約３０名の受講生に対し、常陸太田市の専任講師及び経営・普及部門より、講義・実習・巡回指導を通し細やかな指導を行いました。講座の内容は、主な野菜品目の栽培管理、土づくりと施肥設計、病虫害の防除方法、視察研修等です。受講生からは「自己流ではなく、基礎からしっかり学びたい」と意欲ある声が聞かれました。



熱心に耳を傾ける定年帰農者等講座の受講生



実習で技術を学ぶ定年帰農者

## 直売出荷に向けた実習

直売出荷に向けた意識を高めてもらうために、直売所への周年出荷農家ほ場における研修会や直売所視察、魅力ある品種選定のための種苗会社見学を行っています。ＪＡからは、直売所に必要な条件や生産履歴・防除日誌の書き方についての説明会を行いました。受講生にとって、自家用野菜から消費者に買ってもらえる野菜づくりへ意識を高める機会作りとなっています。定年帰農者講座受講者の約３割の方が直売を開始しました。

## 直売所出荷者等への支援

市内の５つのＪＡ直売所出荷者等に対し、毎月、地場産率向上のために、主品目の作期拡大と品薄品目の生産拡大のための講習会を開催してきました。直売所等の出荷者向けの講座では、新たな作型について学ぶと共に、他生産者との情報交換を通して、効率的な農作業や直売所出荷のノウハウを意欲的に身につけています。経営・普及部門では、講習会や巡回により継続して指導を行っています。



現地農家から直接指導を受ける受講生